

1 プロジェクトの概要
 国際リアコライダー（ILC）の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積されることから、イノベーションを創出する環境の整備などを進めることにより、知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指します。

2 現状と課題

- ◆ ILCの実現に向け、SNS・イベント等での情報発信など国民理解増進の取組を実施。更なる機運の醸成が必要。
- ◆ 産学官の共同研究による「まちづくりのモデルケース」を策定。建設候補地周辺自治体におけるILCを契機としたまちづくりへの支援が必要。
- ◆ 県内企業に対する加速器関連産業への参入支援や技術指導等の取組を実施。産業集積やイノベーションの創出に向けた取組の更なる強化が必要。
- ◆ カーボンニュートラルの実現に向けた持続可能な森林資源の活用方法の研究を実施。継続的なグリーンILCの取組の推進や更なる理念の普及が必要。

3 今後の展開

◆ 国民・県民理解増進	◆ 更なる機運醸成に向けた普及啓発の取組の推進
◆ 国際研究拠点形成支援等	◆ 建設候補地周辺自治体に「まちづくりのモデルケース」を提案し、取組を支援
◆ イノベーション創出	<ul style="list-style-type: none"> ◆ いわて加速器関連産業研究会を軸にした、大学、公設試験研究機関等との連携を強化 ◆ 加速器関連産業など県内企業の技術力向上への支援を強化 ◆ 企業の技術力向上支援及び加速器関連産業への参入支援を強化
◆ グリーンILC	◆ グリーンILCの普及啓発や、カーボンニュートラルの実現に向けた森林資源の活用及びCO ₂ 吸収量の把握に係る共同研究を推進

4 令和5年度の具体的な取組 ILC推進事業費 101百万円

◆ 国民・県民理解の増進（ILC推進事業費）
<ul style="list-style-type: none"> ● 拡 ILCの有する意義や価値を広く発信する講演会・イベントを、県内外へのウェブ配信などコロナ禍においても工夫を行いながら実施（4百万円）
◆ 国際研究拠点の形成支援等〔東北ILC事業推進センターが行う事業の支援〕
<ul style="list-style-type: none"> ● 拡 令和4年度に策定する「まちづくりのモデルケース」を、市町への説明会、セミナーの開催等を通じて建設候補地周辺自治体に展開
◆ イノベーションの創出（ILC推進事業費〔政プロ費〕）
<ul style="list-style-type: none"> ● 拡 いわて加速器関連産業研究会が大学・公設試験研究機関等と連携して実施する県内企業の技術者向けのセミナーや講習会、企業の学会への出展支援などの取組を拡充（3百万円） ● 拡 令和4年度にオープンラボに整備する機器を活用することにより、研究者の企業向け指導を強化し、大学・公設試験研究機関等と企業との共同開発を推進（2百万円） ○ 加速器コーディネーターをいわて産業振興センターに引き続き配置し、企業訪問・技術指導・マッチング等により、県内企業の参入に向けた取組を推進（16百万円）
◆ グリーンILC（ILC推進事業費〔政プロ費〕）
<ul style="list-style-type: none"> ○ カーボンニュートラルの実現に向け、産学官が共同し、ILC立地地域におけるCO₂吸収量に関する検討を実施。また、グリーンILCセミナーを開催し、その理念や取組の理解促進を図るための取組を実施。（2百万円）

【ILC計画をめぐる動き】

- ◆ 高エネルギー加速器研究機構、ILC国際推進チームにおいて**国際共同研究・政府間協議**に向けた取組が進められている

1 加速器関連産業への参入促進等に向けた取組が進む

- 加速器関連産業研究会への参加企業は**160社以上**(R3時点)
- 産業支援機関等と連携した加速器関連産業における**新規共同研究開発数は3件**(R元～R3の累計)
- 県内企業による加速器関連の**受注実績は20件以上**(R元～R3の累計)



ILC技術セミナー

2 ILCなど科学技術に関する県民理解が進む

- ILCなど科学技術に関する講演会に**1万人以上**が参加(R元～R3の累計)
- 県内高校生を対象とした科学・工学コンテストを開催し、のべ**9校13チーム**が参加(R元～R3の累計)



科学・工学コンテスト

3 グリーンILCによるエコ社会の実現に向けた取組が進む

- ILC施設から生じる排熱を有効活用するための**蓄熱吸着材「ハスクレイ」の実用化**に向けた取組が進む



イチゴハウスでの蓄熱吸着材「ハスクレイ」の放熱実証実験